

古文読解の土台は助動詞! センターでも文法問題は必出だ! 何をやればいいのか?

古文の力のもとには、「文法」と「単語」に他なりません。大切なのは、何が出るのかわかり、だから何をやってあげばいいのかわかり、理解して勉強すること。ポイントをおさえた勉強で、古文の基礎を固めよう!

東進国語科講師・三羽 邦美先生による紙上講義!

「に」の識別がナンバー1 まず断定が完了かを判断!

POINT1 「にき・にけり・にたり」は完了!

連用形 + **に** + き・し・しか(過去)
けり・ける・けれ(過去)
たり(完了)・けむ(過去推量) ⇒完了

例) 舟こぞりて泣きにけり。〈伊勢物語〉
四・連用 過去
(舟の中の人は皆泣いてしまった。)

POINT2 「にあり」「にや・にこそ」は断定!

体言連体形 + **に** + (助詞) + ラ変動詞「あり」
「あり」の尊敬語
(おはす・おはしますなど)
「あり」の丁寧語
(侍り・候ふ) ⇒断定

例) これはもし鬼にやあらん。〈今昔物語集〉
体言 係助 ラ変動詞
(これはもしや鬼ではないだろうか。)

POINT3 「デアッテ」と訳せる「にて」も断定!

例) [源氏は]所狭き御身に^{おぼ}て、[山の景色を]めづらしう思されけり。〈源氏物語〉
体言 接続助
(きゆうくつなご身分であって、珍しくお思いになった。)

POINT4 格助詞の「に」は「ニ」のままでOK!

体言・連体形 + **に** ⇒ 格助詞 (…ニ)
「…ニ」と訳せる場合

例) 七日になりぬ。同じ港にあり。〈土佐日記〉
(七日になった。同じ港にいる。)

POINT5 接続助詞の「に」は「ニ」のままでダメ!

連体形 + **に** ⇒ 接続助詞 (…ト…ノニ…ケレドモ…ノデ)
「…ニ」と訳せない場合

例) 法蔵の破れて侍るに、修理して賜はらむ。〈十訓抄〉
(宝蔵がこわれておりますので、修理していただきたい。)

POINT6 形容動詞は単語レベルで判断!

例) 黒き雲にはかに出で来ぬ。〈土佐日記〉
(黒い雲が急に出てきた。)

POINT7 「死に・往に」ならナ変の語尾!

例) 逃げて往にけり。〈今昔物語集〉
(逃げて行ってしまった。)

POINT8 副詞の一部(まことに・つひに・すでに・ともに・さらに・いかに・よに・げになど)

例) まことにさにこそ候ひけれ。〈徒然草〉
(本当にそうでございますなあ。)

東進国語科 古文・漢文講師 ^{みわくにみ}三羽 邦美先生

縦横無尽な知識を駆使し、ゆったりと悠久の世界に誘う独特のストーリー授業が、根強い支持を集める実力派。正攻法でありながら歴史的背景を交えた奥深い授業内容に、「古典食わず嫌い」の受験生もグングン引き込まれ、短期間で確実に合格レベルの実力が身につく。



I 「に」は次のうちのどれかだ!

- A 完了の助動詞「ぬ」の連用形
- B 断定の助動詞「なり」の連用形
- C 格助詞「に」
- D 接続助詞「に」
- E ナリ活用の形容動詞の連用形活用語尾
- F ナ変動詞「死ぬ・往ぬ」の連用形活用語尾
- G 副詞の一部
- H 格助詞「にて」の一部

II 完了か断定が一番わかりやすい!

「に」の識別で最も大事なものは、Aの完了の助動詞か、Bの断定の助動詞かですが、実はこの2つが一番わかりやすいんです。

下に過去の助動詞があって「にき・にし・にしか」や「にけり・にける・にけれ」になっているか、「にたり」や「にけむ」になっていたら完了です。

下にラ変の「あり」あるいは丁寧の「はべり、候ふ」や尊敬の「おはします・おはす」があって「…にやあらむ」とか「…にこそ侍らむ」「…にやおはしますらむ」ようになっていたら断定です。この場合気をつけたいのは「…にや」「…にこそ」になっていて結びの「あらむ」なんか省略されているケースの出題が多いこと!

「にて」で「…デアッテ」と訳せるのも断定です。格助詞の「にて」は、「体育館にて〜」みたいな形で、ただの「デ」。

III 次は格助詞か接続助詞かを考える!

完了でも断定でもなかったら、次はCの格助詞か、Dの接続助詞かを考えます。訳が「ニ」のままでよければ格助詞、「ニ」のままでおかしいようだったら接続助詞です。接続助詞は「、」の前にあることが多いですね。

IV あとはすべて何かの一部!

完了でも、断定でも、格助詞でも、接続助詞でもなかったら、あとはすべて何かの一部です。特に、形容動詞の連用形は文中に多いこともあってよく出ますから、気がつきたいですね。

裏面へ続く! ➡

チャレンジ問題

P.1の解説をふまえて、例題と三羽先生からの宿題にチャレンジしてみよう!

<例題>

①～④の文の波線部「に」の文法的説明の組合せとして正しいものを、後の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① [兵部卿の宮は]おのづから慰むかた(自然と心が慰められること)もある^aにや、昼なども折々は渡らせ給うて、……
- ② ある昼つかた、いとしめやか^bにて、人々(姫君づきの女房たち)、御前にてうちとけつつ(くつろぎながら)、戯れ遊び給ふ。
- ③ ふと思し出でつつ(思い出しなさって)恋しければ、過ぎ^cにしことども繰り返し思ほし出でつつ寄り臥させ給ふに、……
- ④ 小さき童女の御前^dに候ひしを、「この絵は誰が書きたるぞ。ありのままに(正直に)言ひなば、いとおもしろく我も書いて見せん(見せてあげよう)」とすかし給へ(機嫌をとりなさる)ば、……

〈兵部卿物語〉

- ① a 接続助詞 b 格助詞 c 完了の助動詞 d 断定の助動詞
- ② a 接続助詞 b 格助詞 c 断定の助動詞 d 断定の助動詞
- ③ a 格助詞 b 形容動詞の活用語尾 c 完了の助動詞 d 断定の助動詞
- ④ a 断定の助動詞 b 形容動詞の活用語尾 c 断定の助動詞 d 格助詞
- ⑤ a 断定の助動詞 b 形容動詞の活用語尾 c 完了の助動詞 d 格助詞

〈センター試験〉

<宿題>

①～⑤の文の二重傍線部の「に」について、格助詞、断定の助動詞、完了の助動詞に分類した時、その組合せとして最も適当なものを、あとの①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 初瀬の寺に^{こも}百日籠りて、
- ② これ、大聖(仏)の方便に^{だいしょう}こそとて、
- ③ 京へ上りに^{けい}けり。
- ④ 大方の儀(ありきたりのこと)ならばたのむべきに^{たのむべき}はあらねども、
- ⑤ さやうの品(そんな身分の低い者)に^{さやう}引き籠められむ事(妻として迎えとられてしまう事)こそ口惜しけれ、

〈三国伝記〉

	格助詞	—	断定の助動詞	—	完了の助動詞
①	(a)	—	(be)	—	(cd)
②	(ab)	—	(e)	—	(cd)
③	(ab)	—	(de)	—	(c)
④	(ae)	—	(bd)	—	(c)
⑤	(ae)	—	(cd)	—	(b)

〈センター試験〉

→宿題の解答・解説はWebで!

ここを確認! 選択肢に完了・断定がないか?

完了か断定かが、見かけ上は一番カンタンなものでした。

a・c・dに「断定の助動詞」「完了の助動詞」の選択肢がありますね。さあ、どうでしょうか? まずaを見てみましょう。

a 慰むかたもあるにや、

これは、「……にやあらん」の「あらん」が省略されている典型的なカタチです。つまり、aは断定の助動詞「に」です!

これで、もう答えは④か⑤に絞られました。次にcです。

c 過ぎにしことども

これも、「過ぎ」がガ行上二段活用の動詞の連用形ですし、「にし」の「し」は「せ・〇・き・し・しか」と活用する過去の助動詞「き」の連体形ですから、「にし」で即、cは完了の「に」です。ということは、これで答えは⑤に決まり! どうですか? カンタンでしょう。ちなみにdですが、

d 御前に候ひしを

上が名詞で、下に見一丁寧語に見える「あり」の謙譲語「候ふ」がありますから、断定の可能性はあるのですが、これは「御前にひかえておりましたのを」と言っているんですね。ですから、これは「に」のままでOKの格助詞です。

bの「しめやかに」は「しめやかなり」という形容動詞の連用形です。「…かに」「…げに」のような形、つまり「しめやかなり」とか「あはれげなり」という形の形容動詞は多いですから、これも知っておくと使えますよ。

もう一つ、やはりセンター試験の過去問をやってみましょう。

今すぐアクセス! 解説授業を東進ドットコムで限定公開中!

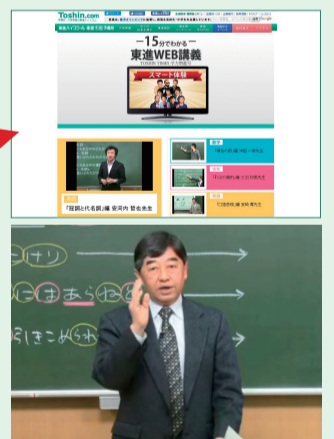
Web限定・三羽先生の特別解説授業はこちら!

www.toshin.com



東進

検索



ハッキリ言って合格実績が自慢です!! 大学受験なら、

TOSHIN TIMES
発行 東進本部
発行人 永瀬昭幸
本部 〒180-0003 東京都武蔵野市 吉祥寺南町1-29-2
編集 株式会社ナガセ広報部
TEL:0422-44-9001
禁・無断転載

東進ハイスクール
0120-104-555

東進衛星予備校
0120-104-531

東進 検索
LINE 公式アカウント
Twitter 東進公式
Facebook 東進公式

185大学の過去問も閲覧可!!

東進ドットコムはスマートフォン・PCからもアクセスできます!